

いかわ

IKAWA TOWNS.COM

No.589

平成17年12月1日発行

地域づくりを考える いかわを拓く町民のつどい
産業・文化功労者3氏を表彰 井川町産業祭・文化祭



「おばあちゃん、これでいい？」

11月24日、井川小学校3年生43人と高齢
大学68人との交流学習会が行われました。
おじいちゃん、おばあちゃんから「しめ縄飾り」
づくりを教わる生徒たち。始めは見よう見まね
のぎこちない「縄ない」の手さばきも、
気がつけば数メートル程の縄に仕上がりました。

主な内容

- ・いかわを拓く町民のつどい..... P 2 ~ 3
- ・地域づくりフォーラムinいかわ... P 4
- ・まちの話題..... P 6 ~ 7
- ・公民館だより・花いかだほか..... P 8 ~ 9
- ・くらしの情報、見てみて、みんなの広場

P10 ~ 16

まちづくりの基本は、私たち町民が自ら考え、行動することにあるのではないのでしょうか？

今の時代は一人ひとりの価値観が多様化し、社会経済情勢が大きく変化し続けていく中であって、この地に住むことを誇りに思える『美しいまち楽しんでまち健康なまち』とめざしたより良い地域を創造していくために、私たち住民が自ら考え、行動していくために、どうあれば良いのか、今一度、考えてみませんか？

テーマは、『自ら考え、行動するまちづくり』

平成17年度「いかわを拓く町民のつどい」が11月27日、町農村環境改善センターを会場に開催され、110人の町民が参加しました。今年も「自ら考え、行動するまちづくり」をテーマに、住民主体の地域づくりのあり方を県内各地の実践事例に学ぶことがねらい。

はじめに齋藤町長が『これからのまちづくり』について講話。『これからのまちづくり』についての結論は、テーマにある『自ら考え、行動するまちづくり』を考えよう、語り合おう、動いてみよう』、この点に尽きる

だろう。有名な言葉でアメリカのケネディ大統領の就任演説を引用すれば『国が国民のために何をしてくれるのかを期待するのではなく、我々国民が国のため

に何をできるのかを考える』まさに地域づくりの要点がこの言葉にまつている。住民が主体となつて地域のことを考え、自らの手によって地域づくりを進めていってほしい」とまちづくりのあり方を示しました。

続いて、地域文化研究会AKITA主宰の佐々木久春氏を講師にむかえての講演会『秋田の先人に学ぶ』自ら地域を起すには『』が行なわれました。

講演の中で佐々木氏は地域の将来像を描く上で、まず以前のことを学んでみてはと「地域活性化研究会報告書（昭和61年・県商工会連合会発行）」に記載された地域の課題を取り上げて

▲歴史をひもとき講話する佐々木氏



自ら考え、行動するまちづくり いかわを拓く 町民のつどい

『地域づくり考えよう、語り合おう、動いてみよう』

説明。「当時の男鹿・南秋・河辺地区では地域の課題として、商店街（個人経営）の近代化
企業誘致 観光の振興 購買力の流出 特産品の開発
地場産業の振興 後継者問題
幹線道路の整備 過疎・高齢化問題の項目をあげている。このうちのいくつが解消されているであろうか。これからのまちづくりを考えていくためには、現在の地域の課題と比較してみることが大事ではないか」と示唆されました。



また、「他町に学ぶ、地域づくりあれこれ」と題したシンポジウムでは、湯沢市・岩崎NPO常務理事の高橋岩五郎氏、阿仁公民館施設ボランティア阿求道会事務局長の湊一彦氏、八郎瀧

阿仁公民館施設ボランティア 阿求道会



阿仁公民館施設ボランティア
阿求道会事務局長 湊一彦氏

この阿求道会あくどうかい）は公民館が実施する各種講座や生涯学習活動の支援・協力、小学校教育のわんぱくクラブの講師、子ども自然体験学習の支援活動などです。
特にこの会が力を入れていたのが、会設立のきっかけもなった、子どもの自然体験活動です。「限られた公民館職員の手だけでは子どもたちにとって豊かな体験メニューをこなすことは無理ではないか。子どもたちには様々な体験をさせてあげたい」という思いがこの阿求道会のスタートでした。

青年者異業種交流会メビウス会長の菊地文人氏の3氏をシンポジストにむかえ、それぞれの住民組織を設立した経緯や活動内容などを含めた事例発表がありました。

設立は平成10年から、現在の会員は26名です。メンバーのほとんどが退職者で、また職種も看護師、保健士、会社員など様々です。身につけた職を活かしながら支援活動を行っています。体験活動の内容は私たちの活動の原点ともなった子どもたちのブナ帯での自然体験。今の子どもは自然体験が少ないということで、子どもの成長の過程で自然と接しながら感性を磨くような体験をさせてあげたいと考えています。基本的な感覚や行動や人としての器が出来る幼少の時期から自然に接することで、色々なことを学ぶ基礎ができるということを大切にしています。その他にもボランティアでの本の読み聞かせや、保育所へ出向き子育て学習の講師となつてみたり、小会議での一時保育預かりを行なつたり、図書館での本の整理、公民館行事の会場づくりなども活動として行っています。

岩崎NPO常務理事 高橋岩五郎氏



湯沢市・岩崎NPO

私たちの湯沢市岩崎地区は、人口が2,000人弱、世帯数は640世帯で、町内会が9つのコミュニティ活動を進めるには程よい規模だと考えています。町内会への世帯加入率は85%で、残りの未加入世帯は人の流動的なアパート世帯です。小学校が地区内に一つあり、生徒数は120人ほどです。

八郎瀧青年者異業種交流会 メビウス

設立当時の北都銀行支店長の提言から町の商工会青年部のメンバーが中心となって設立した組織。正式な名称は「八郎瀧町青年者異業種交流会メビウス」と言います。メビウスとは無限を意味し、永続的な活動をしていくということを意味します。組織は45歳定年制で、それ以降は昨年5月に創立したOB会

会の設立は昭和46年と歴史のある組織です。設立のきっかけとなった出来事は昭和43・44年頃のこと、地区内で公民館の移転改築の話が発端でした。移転先の場所の選定で3年間もの月日をかけましたが、結局、住民の意向をまとめることができませんでした。最終的には行政側に建設場所を決めてもらうことになってしまったのです。

自分たちで自分たちのことを決めることが出来なかった、地域で場所を決めてほしいという話を地域でこなせないで、結局は場所争いに終始してしまいました。この反省から、当時30代の青年たちが「このような地域では自分たちの将来が思いやられる。どうにかしなくては」と

に所属して独自に活動を続けていきます。今年で11年目を迎えた会で、その間、低迷していた時期もあれば、これほど活動しなくてはいけなかつたかと思うほど忙しい時期もありました。メビウスの運営は毎月第一金曜日夜に定例会を開催し、運営活動内容を決めていきます。これまでの活動内容は子どもを対象にしたキッズサークル、町内の各家々の桜を花見しながら回る桜散歩、環境問題を考え

いう思いで、公民館移転改築問題をきっかけにグループをつくって地域づくりを考えていくという動きが出てきました。まず始めになにをしたかというところ、何が問題であったのか」ということを探ってみることが第一でした。

この問題の一番の要因は、それぞれの町内会同士が対話をする席が無かつたということ。これが公民館移転問題を解決することが出来なかつた最大の理由でした。話し合いの場がいかに大切かということを感じ、このことをきっかけとして、組織活動の一つである「対話集会」として現在まで続いてきています。

ると言うことでいかだを作って浮かべてみたり、昨年は地域の将来を語るということで周辺の町村長を招いての講演会を開催したりもしています。

八郎瀧青年者異業種交流会
メビウス会長 菊地文人氏



11月11日、町農村環境改善センターではNPO法人・秋田地域問題研究会と町が主催する『地域づくりフォーラム』が開催され、会場には町内外から約90人が集いました。

この地域づくりフォーラムは県内市町村が直面している地域の課題をふまえながら、「活力ある地域社会の創造」を住民と共に探っていくことをねらいとして、秋田地域問題研究会が開催してきているもの。例年は秋田市等を会場に開催してきましたが、今回、住民との距離を近づけてよりコンパクトな規模でのまちづくりを考えてみようという本町での開催となりました。

【パネリスト】

- 加賀谷 長之 (NPO法人 秋田地域問題研究会理事)
 - 木村 一裕 (秋田大学 工学資源学部 土木環境工学科教授)
 - 齊藤 健悦 (株式会社アイセス 代表取締役)
 - 半田 茂 (半田呉服店代表)
 - 藤田 多鶴子 (産直生産グループ 代表)
 - 松田 仁志 (農業)
 - 齋藤 正寧 (井川町長)
 - 吉田 知生 (日本銀行秋田支店長)
- 【コーディネーター】
- 清水 浩志郎 (NPO法人 秋田地域問題研究会理事長・秋田大学名誉教授)
- (敬称略)

開会に先立ち齋藤町長が「現在、秋田大学の清水名誉教授と木村教授から『住民の意識調査』を行なってもらっている。以前、スズキ部品秋田工場の進出の際の昭和47年にも住民の意識調査を実施しているが、30年ほど経過して町民の意識がどのように変わってきているのか第三者から評価してもらうことは大変意義がある。このような会を通じてこの町をどうしていいのか、という将来像を探る手がかりになればと期待している。無い物を嘆くよりも、我々が持っているものに自信を持ちながらまちづくりをすすめていくきっかけとなれば大変うれしい」とあいさつ。

フォーラムは、産学官各分野のパネリスト8氏を町内外から迎えて行なわれ、活力ある地域社会づくりに「今何が必要か」それぞれの立場に立った意見を述べた。町の農業生産者や地域の商業団体が抱えている問題、人口減の問題、雇用の場の確保等々、参加者と共に地域の課題を再認識し、地域の「にぎわい」や「活力」を生み出す方策はないかを探った。

日本銀行秋田支店の吉田支店長は「大型店の進出で地域の商店が衰退したと嘆くよりも、町の中に人が集まる場所ができたことをチャンスとしてとらえることはできないか。国道285号線沿いに新たな賑わいを見出せるのでは」と提言。

また、15歳以上の井川町民600世帯・延べ1200人を

に協力いただいた。調査は11月4日の締め切りで実施。現在も回答を回収中であり、160票の回答を得た現段階での集計結果。「道路整備の状況」、「公園の整備」、「買い物物のしやすさ」、「健康診断・予防接種の充実」が取り分けて満足度が高い。逆に「町の賑わい」、「雇用の状況」、それから「NPO・ボランティア活動などの市民活動のしやすさ」が評価としては低い。また新たな産業の必要性では、必要・どちらかといえは必要が8割を超え、町

は重要・どちらかといえは重要が8割を超えて意識が高いことが伺えるが、参加への意欲は比較的高いものの、必要性を感じている割合と比べては若干下がる」と評した。

続いて、昭和40年代に農工一体を掲げ、秋田県内陸工業団地事業に携わっていた秋田地域問題研究会の加賀谷理事(元県商工労働部次長)が、県内第一号としてスズキ自動車工業(現スズキ部品秋田)の誘致を果たした際のエピソードを語った。「スズキ社の幹部へ井川進出の理由をたずねたところ、井川からの出稼ぎ者や、集団就職した中学卒者が関係工場等までまじめによく働いてくれたこと、納税100%を継続していた村民の心意気や、現地を視察して中学生のあいさつなどの礼儀正しさに感銘を受け、この地であれば進出しても大丈夫であると判断した」と企業誘致決定後のスズキ社幹部の言葉を紹介した。

最後に、コーディネーターをつとめたNPO法人・秋田地域問題研究会理事長の清水浩志郎氏(秋田大学名誉教授)が「活力ある地域づくりには、既存の型にはまらない意識改革が必要」と総括し、幕を閉じた。

地域づくりフォーラム

活力ある地域社会をめざして



対象として実施した『成熟した活力ある地域社会に関する住民意識調査』の調査・分析を行なっている秋田大学工学資源学部・土木環境工学科の木村教授が中間報告を行なった。

「昭和47年から時代も変わり、人々の価値観も変わってきている。地域が自立して住民が誇らしく生きていくためにはどうしていったら良いのかということを探るため、アンケート調査

の産業として確固としたものを築いてほしいという願望を感じ取れた。住民主体・住民参加のまちづくりの必要性の項目で

功績をたたえて

町内外の各分野において活躍されている方や、地域活動を支援している方がたくさんいます。そうした長年にわたる活動が認められ、表彰された方々をご紹介します。

農林水産大臣表彰

統計功績者



勝田 忠司さん
(羽立)

勝田さんは昭和40年から町の統計調査員に任命されて以来、統計調査の必要性を深く認識し、正確な統計調査に尽力され、また指導員として任務の重要性を理解され調査員の指導にあたるなどの功績が認められました。

秋田県知事表彰

土地改良事業功労者



工藤 久兵衛さん
(大妻)

工藤さんは井川町土地改良区理事長として町の土地改良事業の推進に尽力されました。去る11月4日に行われた秋田県土地改良事業推進大会において表彰が授与されました。

秋田県農業会議会長表彰

永年勤続農業委員(25年以上)



渡部 春雄国さん
(新聞)

渡部さんは井川町農業委員会委員および会長として町の農業振興の推進に尽力されました。去る11月5日に行われた第49回秋田県農業委員大会において表彰が授与されました。

あすの秋田を創る協会会長表彰

あすの秋田を創る協会功労団体

「さくら延寿会老人クラブ」は、地域の花だんづくりをはじめ、日本国花苑花だんの除草や国道等のクリーンアップなどのボランティア活動を行ない、地域の中核団体として、地域づくり運動の推進に貢献されました。

受賞を報告する「さくら延寿会」会長の澤石傳吉さん



井川町社会福祉協議会長表彰

井川町民生児童委員功労者

湊 ハル子さん(坂本)

伊藤 靖子さん(大倉)

社会福祉協議会役員功労者

森田 千枝子さん(小今戸)

【社会福祉協議会長感謝状】

井川町民生児童委員功労者

二田 ハツ子さん(大台)

工藤 富治さん(大妻)

もう12月。振りかえってみればあわただしい一年だった。昨年末に合併協を離脱し、単独立町を選択した本町は新年早々に自立計画策定プロジェクトを編成、幅広い分野での見直しを行なった。今12月町議会で条例改正を経て、成案となる。住民との協働のまちづくりを柱とするこの計画は組織機構の簡素化、徹底した行財政改革を中心にサービスの維持向上をねらいとする。策定作業を通じ、私を含めた役場職員が積極的に意識を改革し、まちづくりの中核となる気概を持つことができたが、町民の一人ひとり



町長日記抄

齋藤 正 寧

が主体となつて活動できるかどうかを成否を決める。自信を持つて前進できるように協力のほどを。

5月に開催された全国さくらシンポジウムは印象深い行事だった。町民の参加者も予想以上で、専門家たちと交流できた意義は大きかった。

分けても、桜の新品種を作り続けてきた浅利政俊氏(北海道松前町)からは小・中学生の作文や活動が激賞された。今後は国花苑の立地条件を生かしながら教育活動を展開しては」との提案をいただき、協力を惜しまないとの申し出もあった。またパネル討議を司会した奈良洋氏(秋田バラ会々長)からは「地域

づくりには「バカ者」「よそ者」「若者」が欠かせない。情熱、情報、真剣さが必要だ」との指摘があり、三拍子そろつた人は少ないが、どれ一つを持つ人が集まれば可能との示唆に富んだまとめがあった。参加者からは多くの提言があったが、これらを具体化して初めてシンポジウムが成功したことになるのだらう。

企業懇談会が設立され、東京・板橋区の企業グループとの交流が始まった。来春にも再度東京から本町を訪れることが決まっている。異業種の交流を通じて本町企業の活

性化をねらうものだが、じっくり腰を据えた活動を期待したい。最終的には、新起業や小規模であっても企業誘致につながることを期待している。

年末にかけて地方分権と財政再建が中心課題である三位一体改革の決着がどうなるか。単なる数字合わせに終わるのか、実のあるものとなるか。今後の自治体のあり方にも大きな影響を及ぼすだけに目が離せない。

第42回

産業祭

第34回

文化祭

井川町産業祭・町民文化祭が11月5日・6日の両日、役場庁舎および町農村環境改善センター、健康センターを会場に開催されました。

森田喜一郎さんら三氏を産業功労者・文化功労者として表彰

役場大会議室に設けられた産業祭展示部門には、水稲や野菜・果物などの農産物123点、食品加工の部に21点の作品が集まりました。

出品された作品の中から特に優秀な作品を表彰する井川町産業祭褒章授与式が6日、町農村環境改善センターで行なわれ、秋田県知事賞をはじめ各賞が受賞者の方々へ贈られました。また、森田喜一郎さん・鷺谷準さんに産業功労者表彰を、小林卓巳さんに文化功労賞が贈られ、受賞者たちと共に喜びを分かち合いました。



文化祭展示部門は町農村環境改善センターと役場二階会議室等を会場に展示され、草木染め物やパッチワークなどの手芸をはじめ、絵画、書道、陶芸などが会場を彩りました。毎年恒例となった「歌と踊りのつどい」も行なわれ、晴天に恵まれたこの日は、多くの町民が会場に足を運んでいました。

また、健康センターを会場に行われた福祉展には、老人福祉展に77点、身体障害福祉展に61点の作品が並び、作品の見事な出来ばえに来場者の目を集めていました。

第42回井川町産業祭および福祉展に出品し、入賞された方々を紹介します。なお、敬称は省略させていただきます。

井川町産業祭表彰者

秋田県知事賞

工藤 節子(大 麦) 食品加工・きな粉もち

遠間 孝子(新屋敷) 野菜の部・ホウレンソウ

秋田県農業協同組合中央会会長賞

鎌田ヒナ子(小今戸) 水稲の部・あきたこまち

伊藤 和弘(大野地) 果樹の部・三島ぶじ

秋田地域振興局農林部長賞

伊藤 澄子(大 倉) 食品加工・梅漬け

三浦嘉津雄(街 道) 野菜の部・ハクサイ

優秀賞

鎌田 良子(小今戸) 野菜の部・キャベツ

小武海ミヨ(新屋敷) 野菜の部・ダイコン

鎌田ヒナ子(小今戸) 野菜の部・ネギ

草階 正二(八 幡) 野菜の部・ホウレンソウ

伊藤マサ子(今 戸) 食品加工・ほし柿

鷺谷 幸平(横 岡) 食品加工・大豆と米粉のおかき

渡部 正一(小 泉) 雑穀その他・枝大豆

渡部津代志(小 泉) 水稲の部・あきたこまち

優良賞

菅生 ヤエ(井 内) 野菜の部・キャベツ

遠藤 康子(小今戸) 野菜の部・ダイコン

伊藤 孝子(大 倉) 野菜の部・セリ

猿田 正子(田 中) 食品加工・ピーズケーキ

森田テツエ(小今戸) 果樹の部・柿

努力賞

鎌田 良子(小今戸) 野菜の部・サツマイモ

鎌田ヒナ子(小今戸) 野菜の部・カリフラワー

伊藤 兼次(八 幡) 果樹の部・キーウイ

奨励賞

遠間 義孝(新屋敷) 野菜の部・みず菜

伊藤 洋子(大 倉) 果樹の部・洋なし

特別賞

伊藤 優征(羽 立) 野菜の部・ハバナロ

伊藤キミエ(街 道) 果樹の部・いちじく

老人福祉展入賞者

特別賞

浅野ユリ子(街 道) 和 裁・花嫁衣裳

澤石ツヨメ(井 内) 刺し子・パジャマ

奨励賞

安田アサエ(寺 沢) 刺し子・リュックサック

伊藤 ミヨ(大野地) 染め物・リンゴの枝染めのれん

伊藤 忠雄(坂 本) 木彫り・ふくろうの親子

伊藤 友子(大 倉) 染め物・マフラー

努力賞

遠藤 ミネ(今 戸) 染め物・のれん

藤田 弘(新屋敷) 鉢植え・魔法の鉢

小林 次子(館 岡) 刺し子・テーブルクロス

伊藤ヨシエ(上 村) リフォーム・ベスト

与良 久子(小今戸) 編み物・バック

伊藤 夏子(羽 立) 押し花

グループ出品の部

特別賞 海老沢老人クラブ

奨励賞 小今戸長生会老人クラブ



11/19

ふるさとの味、きゃのこ汁に舌鼓 首都圏ふるさと井川会

第17回首都圏ふるさと井川会が東京都・日本青年館で開催され、関東圏のみならず、遠くは兵庫県からの出席者も含め、約90人が集まりました。

開会に先立ち「井川この一年」と題し、町の主な出来事をスライドで紹介した後、齋藤町長のあいさつでは自立の道を歩んでいる町の状況が報告されました。また総会後の祝賀会では、井川産枝豆を使った「ずんだ」入りのふるさとの味・きゃのこ汁に舌鼓を打った参加者から「なつかしい」との声が聞かれ、旧友たちとの再会に会場は大いに賑わいました。

11/13

第42回全町卓球大会の結果です (井川町民体育館)

団体の部

- 優勝 井川中OGチーム
- 準優勝 街道町内チーム
- 第3位 上村町内チーム
- ” 健康づくりチーム

個人の部

〔男子1部〕

- 優勝 畠山 昭(上村)
- 準優勝 中山 靖洋(街道)

〔男子2部〕

- 優勝 伊藤 秀人(小泉)
- 準優勝 湊 富夫(坂本)

〔女子1部〕

- 優勝 川村 静香(宇治木)
- 準優勝 進藤 鮎子(宇治木)

〔女子2部〕

- 優勝 鷲谷 里菜(海老沢)
- 準優勝 伊藤志穂子(街道) 小6

〔中学生の部〕

- 優勝 小林 泉(菴田) 中3
- 準優勝 中山 風花(小今戸) 中3

〔総合の部〕

- 優勝 川村 静香(宇治木)
- 準優勝 進藤 鮎子(宇治木)

◆平成17年度井川町産業功労者表彰



森田 喜一郎さん(小今戸)

森田さんは長年にわたり、井川町商工会理事として活躍されたほか、商工会合併ワーキング部会委員として湖東三町商工会設立に大きく貢献され、本町商工業の振興に努められました。



鷲谷 準さん(仲台)

鷲谷さんは長年にわたり井川町土地改良区理事として活躍されるとともに、地域の生産組合長などの要職にあたり、豊富な経験と卓越した識見をもって本町農業の振興に努められました。

◆平成17年度井川町文化功労賞



小林 卓巳さん(菴田)

小林さんは長年、教職員として生徒の育成に尽力され、とりわけ文学での卓越した識見と指導力で本町文化の向上に努められるとともに町教育委員長、町史編さん委員長として教育文化の振興に貢献されました。



身体障害者福祉展入賞者

特別賞

鷲谷金一郎(桐ヶ丘) 切り絵「風」
門間フジエ(桐ヶ丘) 書道「静和」

奨励賞

鷲谷 信夫(横岡) 草花・寄せ植え
安田 一男(桐ヶ丘) 写真・国花苑のバラ

努力賞

伊藤 真紀(小泉) パッチワーク・おかしこのグループホームめぐみ 貼り絵「お雛さま」

努力賞 井内老人クラブ/大妻老人クラブ/館寿会老人クラブ/八田大倉保野子老人クラブ/泉岳老人クラブ/今令寿会老人クラブ/新屋敷老人クラブ/街道はつらつ会/田中和風会/羽立老人クラブ/上村老人クラブ/坂本老人クラブ/さくら延寿会老人クラブ

中学生の

「税についての作文」コンクール

税を正しく理解してもらい、税に対する意識を高めてほしいと中学生を対象に行なわれる「中学生の税についての作文コンクール」で、井川中3年生の2人が、それぞれ秋田県納税貯蓄組合連合会長賞と秋田北地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。

秋田県納税貯蓄組合連合会長賞

「税のありがたについて」



井川中学校 3年
三浦 彩さん

私達の社会を支えている「モノ」、それが「税」である。国民が健康で文化的に生活していくために、国や道府県、市区町村が税金によって様々な活動を行なっている。財政に必要なお金の大部分は、税金として集められ、私達が納める税金は公共サービスの提供や社会資本の

整備といった形で、生活の様々な場面で役立てられている。特に私達の生活に必要なものであっても、利潤を追い求める民間の経済活動では生み出せないサービスや施設を提供することは、財政の重要な機能だ。

たとえば公共サービスには警察や消防、家庭から出るゴミの回収や処理などがあり、サービスを充実させていくためにも、財政の役割はこれからますます重要になっていくと考えられる。

しかし、これらをなかなか充実させてくれない問題がある。それは「少子高齢化」だ。日本の平均寿命は30年間に10歳程度も延び、急速な寿命の延びが社会の高齢化を進めている。65歳以上の高齢者の人口に占める割合は年々増加傾向にあり、一方で、将来の働き手となる子ども達の出生率は急激に下がってきている。この現象は、将来の社会に向けて大きな問題を投げかけているのだ。

高齢化の問題の一つは、社会保障の費用が増えていくことであり、もう一つはその費用を負

担する働き手が減っていくこと。社会保障制度の中でも重要なものは年金と医療であるが、高齢化の進行に伴い、この分野の費用が増える予想される。一方で、その費用を負担する働き手が減ると、一人ひとりの負担が重くなる。後30年もたてば高齢者1人を約1・6人で支えることになると思込まれている。老後の安定した生活を送るためには、大きな費用を必要とする。その財源の中心となるのが税金だ。

秋田北地区納税貯蓄組合 連合会長賞

「町民の笑顔のために」



井川中学校 3年
小武海 佳菜さん

私が通っている中学校は、母の時代から変わってないらしい。他の市町村は過疎化が進み、合併していく中、私の住む井川町は町名が残ったまま、きちんと幼稚園、小学校、中学校が運営されている。

町民は少ないものの、町は昔からの形を残している。それはきつと税のおかげなのだ。税のおかげで、町が町として人々の活力となっていると思う。税が無ければ診療所で病気を診てもらうこともできないし、道路を整備したり橋もつくれない。税は私たちの暮らしに最も身近であり、大切なものなのだ。

5円が消費税なのだ。私も知らず知らずのうちに、すっかり税を納めていたのだ。

『税を納める』ということは、国民の三大義務に値する。税はそれほど大切だ。自分が納めなければ、後々自分が困ることにつながるかもしれないのだ。

人々が税を納めなければいけない理由は、例えば公共物やその地域に暮らしている人々に欠かせない建物の建設のためでもあると思う。病院、学校はもちろんのこと、図書館や駅も税が形を変えて成り立っているのだらう。

私は中学に入学するまで、税について全く知らなかった。しかし、中学に入ってから、何度か税についての講習会を聴く内に、やっと税のことを知ることになった。

私の住む井川町は、とても小さくて人口も少ない。でも一人ひとりが町全体のことを考えて生活している。町を何十年も見てきた祖父母の世代の人は「昔と比べて、とても暮らしやすくなった。小さい子もお年寄りも安全に暮らせる」と話していた。道路と田んぼの境目に柵ができたのも、小さい子供やお年寄りが誤って田んぼに落ちないためなのだろう。

税は暮らしの中で最も重要な役割を果たしている。道路、橋、公園など目に見えている物のすべてが形を変えて税で作られているのだ。

まだ学生の私は「自分は税金は払っていないなあ」と思っていた。しかしそれはちがった。「私もちゃんと税を払っている」。それは消費税だ。コンビニに行くと、100円の品物を買えば5円ついてくる。その

そんな小さな配慮が、税でまかなわれている。それにつながるのには町民の笑顔だ。ここに住む町民みんなの笑顔のために、一人ひとりが税を納めている。私が母と同じ年齢になっても、自分の母校が残っていると信じて。



公民館だより

花いかだ

TEL(874)4422 有線4443

12月の公民館行事

第21回井川町オープンバレーボール 第8回ソフトバレーボール大会

と き 12月11日(日)
時 間 午前9時
会 場 井川町民体育館
申込方法 12月11日(日)午前8時までに町民体育館へ申し込んで下さい。

イキイキ子育て

子どもたちにとっては、もう少しで楽しい冬休みです。普段は、家族揃っての食事がなかなかできないご家庭も、この機会に、ぜひご家族一緒に食事の時間をもつことができますように...

一緒に食事をするって、とても大切。

「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」と子どもに聞いたところ、どの年代の子どもでもいちばん多かった答えは「家族みんなが楽しく過ごす」でした。

子どもにとって、食事は身体の健康だけでなく、心の成長にも深くかかわっています。家族一緒に食事をすることによって、家族のふれあい、食事のマナーなど社会性を深めることにもつながります。できるだけ家族そろっての食事を習慣にしましょう。

また、食事と一緒に「つくる」ことも大切です。自分の手で食事をつくることを通じて、食材や料理方法について学ぶことができます。家族のために食事をつくる喜びや達成感を実感することができます。

一緒に食事をつくって一緒に食べることを通じ、子どもに食に関する知識や豊かな心をはぐくんでいきましょう。『家庭教育手帳』より

いろんな世界が待ってるヨ!

公民館図書室

時々雪もちらつきはじめ、寒くなってまいりました。みなさん、お元気ですか?今年最後の本の紹介をいたします。

とってもだいすき ドラえもん

原作：藤子・F・不二雄・詩：乙武 洋匡 / 小学館

みなさんはドラえもんを知っていますね。どこでもドアやタケコプター、スモールライトやタイムマシン。ワクワクするような道具で、いつでも夢をかなえてくれたドラえもん。

子どもの頃、そんなドラえもんにあこがれていた乙武洋匡さんによる詩で綴られた夢いっぱい広がる絵本です。親子でどうぞ読んでみてください。

ディズニーアニメランドから5冊紹介します。

講談社

ライオン=キング

みなさんがよく知っている絵本ばかりですね。今回はミニサイズ版で新しく揃えてみました。美しい絵とおはなしを、どうぞ楽しんでください。

ダンボ

ふしぎの国のアリス

くまのプーさん

3匹の子ぶた

キッパリ!

上大岡 トメ / 幻冬舎

たった5分間で自分を変える方法が60掲載されています。読んでみて「できそう」と思ったら、やってみてください。

ノーベル受賞者にきく 子どものなぜ? なに?

ベッティーナ・シュティーゲル / 主婦の友社

子どもたちの究極の質問にどう答えますか?

親では答えられない難問に、ノーベル賞をもらったその道の天才たちが答えます。

ボケない生活

大友 英一 / 祥伝社

ボケはアルツハイマーも含めて生活習慣病です。早めの食事を含めた生活改善で、ボケは未然に防ぐことができます。~本文より

金持ち父さん 貧乏父さん

ロバート・キヨサキ / 筑摩書房

アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学書。

どうやったら.....お金持ちになれるんだろう?という疑問をもったら、どうぞ読んでみてください。

| 教室・講座 | 開催日 | 備考 |
|------------|------------|-----------------------------|
| いかわキッズ・クラブ | 17日(土) | スケート教室(由利本荘市岩城)ウエルサンピアスケート場 |
| 和太鼓サークル | 10日、24日(土) | 会場 公民館 |
| 英会話教室 | 7日、14日(水) | 会場 公民館 |
| 手話教室 | 20日(火) | 会場 公民館 |

| 教室・講座 | 開催日 | 備考 |
|------------|-----------|---------------|
| 3 B 体操講座 | 7日、21日(水) | 会場 公民館 |
| 絵手紙講座 | 1日、15日(木) | 会場 公民館 |
| 高齢大学・大学院 | 16日(金) | 会場 公民館「お楽しみ会」 |
| いきいき女性セミナー | 5日(水) | 会場 公民館 |
| お茶を楽しむ | 27日(火) | 会場 公民館 |

12月の公民館活動

くらしの 情報

12月

役場の電話番号・メールアドレス

URL <http://www.town.ikawa.akita.jp/>
ホームページに関すること
webmaster@town.ikawa.akita.jp

| | |
|--------------------------------------|----------|
| 総務課 soumu@town.ikawa.akita.jp | 874-4411 |
| 出納室 suitou@town.ikawa.akita.jp | 874-4412 |
| 情報課 johou@town.ikawa.akita.jp | 874-4413 |
| 税務課 zeimu@town.ikawa.akita.jp | 874-4414 |
| 町民課(戸籍) | 874-4415 |
| 町民課 tyoumin@town.ikawa.akita.jp | 874-4416 |
| 健康課 kenkou@town.ikawa.akita.jp | 874-4417 |
| 産業課 sangyou@town.ikawa.akita.jp | 874-4418 |
| 農業委員会 nougyou@town.ikawa.akita.jp | 874-4419 |
| 建設課 kensetu@town.ikawa.akita.jp | 874-4420 |
| 水道課 suidou@town.ikawa.akita.jp | 874-4421 |
| 公民館 (環境改善センター) | 874-4422 |
| 歴史民俗資料館 | 874-4423 |
| 教育委員会 kyouiku@town.ikawa.akita.jp | 874-4424 |
| 議会事務局 gikai@town.ikawa.akita.jp | 874-4425 |

◇役場窓口業務の時間延長◇

毎週火曜・水曜日は午後7時まで
住民票、印かん証明書の発行等の
窓口業務を行っています。

無事故で今年を締めくくり

12月は年末を迎え、何かと気ぜわしい季節となります。例年、この時期は忘年会などで飲酒する機会も多くなり飲酒運転による重大事故や、積雪・道路凍結により交通事故が多発する傾向にあることから、12月11日から20日までの10日間「高齢者の交通事故防止」「飲酒運転の徹底追放」「スリップによる交通事故防止」の3点を重点とする『年末の交通安全県民総ぐるみ運動』を実施します。

正しい交通ルールとマナーを実践し、明るく希望に満ちあふれた新年を迎えられるよう、今年も無事故で締めくくりましょう。

高齢者の交通事故防止

高齢者の交通事故の原因は、歩行中の直前横断や飛び出し、自転車乗車中の安全不確認、一時不停止などによって多く発生しています。

年末の交通安全県民総ぐるみ運動

ドライバーの方は高齢者を思いやる運転で交通事故から守りましょう。

飲酒運転の徹底追放

飲酒運転は重大事故につながり、大変危険です。「ちよっと一杯」が悲惨な結果を招きかねません。

12月は、飲酒運転追放県民運動月間です。ドライバーはもちろんのこと、周囲の方も注意しあつて飲酒運転を追放しましょう。

スリップによる交通事故防止

朝夕に路面が凍結したり、平地では路面が乾いていても山間部では雪が積もっていることがあります。

積雪・凍結路面では自動車等の制動距離が長くなり追突事故などの危険はるかに大きくなります。車間距離を十分にとつてスピードをひかえめに安全運転を心がけてください

老人医療からのお知らせ

老人保健制度とは？

高齢者が医療を受けるときの経済的な負担を軽くして、安心して医療を受けられるようにするための制度です。

75歳以上(一定の障害を有する方は65歳以上)の方と、昭和7年9月30日以前に生まれた方が医者にかかるときは、老人保健で医療を受けます。

医療費の自己負担の割合は1割(一定以上所得者は2割)となります。これは国民健康保険や健康保険などの医療保険の加入者や被扶養者すべてに適用されます。

老人医療費が増加しています

高齢になると生活習慣病などの慢性的な病気や骨粗しょう症などによる骨折といった病気やけがが増え、そのことなどから高齢者の医療費は増える傾向にあります。

医療費は上手な受診を心がけることで有効に使うことができます。

知っていますか？老人保健制度

しかし、医療のかかり方によっては医療費をムダに使ってしまうケースもあります。みなさんも自分自身の医療のかかり方を考えてみてください。

一つの病気で医療機関をあちこちに変えないようにしましょう。

(受診した医療機関が多いと初診料等がかかり増しになるなど医療費増の原因となります)

定期検診を心がけ、年に一度は健康チェックを！

(病気の早期発見・早期治療は重症化を防ぎます)

受診の際には健康保険証と老人医療受給者証(老人保健該当者)を窓口提出してください。

また、住所や保険証等の変更があったときは、役場健康課まで連絡してください。

【老人医療に関する問い合わせ】

井川町役場 健康課 有線 4432
電話 018(874)4417

国保の窓口から

国保医療費の実態をお知らせします

平成16年度井川町国民健康保険事業における医療費等の実績がまとまりましたのでお知らせします。

平成15年度の井川町国民健康保険において被保険者1人あたりの医療費は、県内で第1位、全国との比較でも上位に位置するほど高いものでした。そのため、井川町は国から平成17年度医療給付高額の指定を受け、医療費抑制などを目的とする「国民健康保健事業安定化計画」を作成し、医療費削減に努めるよう強く求められています。

医療給付高額の指定は医療費の地域格差を是正することがねらいで、平成17年度は全国で23道府県146市町村が指定を受けています。

国保被保険者1人あたり医療費

| | | 16年度 | 15年度 |
|----|-----|----------|----------|
| 一般 | 井川町 | 307,334円 | 325,383円 |
| | 県平均 | 224,298円 | 216,995円 |
| 退職 | 井川町 | 407,906円 | 401,429円 |
| | 県平均 | 371,330円 | 362,577円 |
| 老人 | 井川町 | 790,882円 | 755,841円 |
| | 県平均 | 732,188円 | 707,624円 |

国保被保険者受診率

| | | 16年度 | 15年度 |
|----|-----|---------|---------|
| 一般 | 井川町 | 1009.56 | 956.15 |
| | 県平均 | 802.95 | 769.85 |
| 退職 | 井川町 | 1527.38 | 1517.61 |
| | 県平均 | 1422.29 | 1374.28 |
| 老人 | 井川町 | 2190.94 | 2132.80 |
| | 県平均 | 1867.70 | 1818.73 |

受診率とは、1年間に医療にかかった総受診件数から、国民健康保険被保険者100人あたりの率を示す数字で、平成16年度井川町・一般分の1009.56とは、100人で1,000回余り医療にかかったことを示しています。

これは市町村ごとの住民の年齢構成に基づき、基準給付費の額を算出し、実質給付費が基準給付費の1.14倍を超えた市町村が指定の対象となるものです。

井川町の平成16年度国民健康保険における医療費は、一般分の被保険者1人あたり307,334円で全県平均の1.37倍と高い数字となっており、これに続く県内2位の市町村は275,000円、また一番低い市町村では187,000円で、その差額は約12万円となりました。

平成16年度医療費は、前年と比較して減少してきているものの、依然として全県トップの高額医療費を示しており、一層の医療費削減への取り組みが求められています。

携帯電話による119番通報の受信方法が変わります

今まで携帯電話からの119番通報

119番通報する場合は、

は、能代地区消防本部で受信し、各所轄の消防本部へ転送されていましたが、より迅速な対応を行なうため12月7日からは井川町、八郎潟町、潟上市昭和・飯田川地区は湖東地区消防本部で、潟上市天王地区は男鹿地区消防本部で直接受信することになりました。

「火災」か「救急」要請であるのかをはっきり伝えてください。また、出勤場所、近くの目標物、事故等の内容が確認できるとより迅速な出勤ができます。

【問い合わせ】

湖東地区消防本部 有線 4424
電話 018(874)2420

移動しながらの通報は交信障害や交通事故等の危険を伴いますので、絶対にやめてください。

麻しん・風しん予防接種

定期予防接種・2回接種の導入

現在、麻しん・風しんのワクチンは12〜90カ月児を対象として、それぞれ1回ずつ実施していますが、麻しん・風しん予防対策を一層強化し、より高い予防効果を得るために予防接種法が改正されました。

ただし、麻しん・風しんのどちらか一方でも、すでにかかったことのある方や、予防接種されている方は改正後の定期予防接種の対象となりませんので、ご注意ください。

これにより平成18年度4月1日以降は麻しん・風しんの混合ワクチンによる2回接種（1回目 12カ月〜24カ月児、2回目 小学校就学前1年間にあたる児童）に変更となります。

【平成17年度の予防接種実施予定】
麻しん 平成18年1月5日（木）
風しん 平成18年2月2日（木）
【予防接種に関する問い合わせ】
井川町健康センター 有線 4455
電話 018(874)3300

井川町役場 ☎018-874-4411

URL <http://www.town.ikawa.akita.jp/>

E-mail jouhou@town.ikawa.akita.jp

ほくたち、 むしばなかつたよ

3歳児健診で、むし歯の
なかったこどもたちです



ゆうと
牧野優斗ちゃん
(さくら)



みゆ
森田美優ちゃん
(街道)

心の健康づくり

自殺予防公開セミナーを開催します

日時 12月18日(日)
13:30~16:30

会場 ホテルメトロポリタン秋田
内容 講話「うつ病の早期発見
・早期治療の大切さ」
慶應義塾大学保健管理センター
教授 大野 裕 氏
講話「マスクミからみた
自殺問題とその予防」
朝日新聞 千葉支局

次長 高橋 康弘 氏
参加費は無料。12月14日までに
電話等でお申し込みください

【問い合わせ】

秋田地域振興局 健康・予防課
電話018(855)5170

相続登記申請・法務講座を開設します

日時 12月8日(木)
10:00~15:00

会場 秋田地方法務局5階会議室
内容 相続登記申請について
法務局職員が相続登記申請書の作
成方法について、わかりやすく説
明します。講座は午前・午後の部
とも各先着30人の予約制。

【問い合わせ】

秋田地方法務局 総務課
電話 018(862)6531
FAX 018(888)1387

福祉についての困りごと

ありませんか？

秋田県福祉相談センターでは、福
祉全般のあらゆる相談に応じ、困り
ごとなどの解決のお手伝いをします。
高齢者の生活や福祉のこと
身体・知的、精神の障害について
のこ
子どものしつけや発達のこと
女性の悩みごと
ストレス等、心の健康のこと
その他、くらし・生活などに関す
る相談および情報提供など

相談所開設日

毎日(年末年始を除く)

相談受付時間

平日 8:30~19:00
土日祝日 10:00~18:30

福祉相談ダイヤル

018(831)2940
FAX 018(831)2306
E-mail fukushi@pref.akita.lg.jp

相談所所在地

秋田県福祉相談センター
秋田市中通(明德館ビル1階)

スポーツの結果です

11/12~14

第34回ミニバスケットボール 潟上市・南秋田郡大会結果

男子 優勝 井川小スポ少
(1月に行なわれる県大会へ出場)

11/12~14

秋田県中学校秋季柔道大会

| | | |
|-------|------|-------|
| 男子団体 | ベスト8 | 井川中学校 |
| 男子個人 | | |
| 81kg級 | ベスト8 | 伊藤 優佑 |
| 73kg級 | ベスト8 | 工藤 大地 |
| 48kg級 | ベスト8 | 石山 皓也 |
| 女子個人 | | |
| 63kg級 | 第3位 | 菅生 亜希 |
| 52kg級 | ベスト8 | 菅生 愛理 |

労災保険制度、労災補償に関する

ご相談に応じます

(財)労災補償情報センターでは、
厚生労働省の委託を受けて労災保険
制度の全般の相談をお受けします。
相談は無料で、秘密は厳守します。

【問い合わせ】

財団法人労災保険情報センター
(RIC)秋田事務所(秋田市中通)
フリーダイヤル
0120(661)489
電話018(836)1818

◆募集案内◆

平成17年度青少年団体指導者研修

青少年団体スタッフセミナー

対象 青少年の指導・支援に携わって
いる方(子どもも会役員、PTA関係
者など)

日程 12月17日(土)~18日(日)

会場 秋田県青少年交流センター

(ユースパル/秋田市寺内)

定員・参加費 30人/7,000円

内容 視察研修「魅力ある自然体験プロ
グラムについて」あきた山の学校

代表 藤原 優太郎 氏

【問い合わせ】秋田県青少年交流センター
電話018(880)2301

平成18年度国有林モニターの募集

募集人員 48人

募集期間 12月28日(水)まで

任期 平成18年4月から1年間

内容 アンケートの回答、モニター
会議への出席など

【問い合わせ】東北森林管理局
国有林モニター係

電話018(836)2274

12月のカレンダー

- 10日(土) こどもセンターまつり
- 11日(日) 全町オープンバレーボール大会
- 16日(金) 納税組合長会議
- 21日(水) こどもセンターもちつき会
- 23日(金) 赤沢山スキー場開き
- 26日(月) 小・中学校冬季休業(1/13まで)
- 28日(水) 官公庁仕事納め

年末年始のごみの収集

【年 末】

可燃ごみ 12月30日(金)まで収集
 それ以外のごみ 12月28日(水)まで収集

【年 始】

いずれのごみも 1月4日(水)から収集
 町清掃センターでは12月29日～1月3日まで、ごみの受入れはできません。
 新年のごみ収集は、1月4日(不燃ごみ・空き缶)から収集を開始します。

【問い合わせ】

役場町民課 電話(874)4416 / 有線4441
 清掃センター 電話(874)2030 / 有線3600

テレホンカードが当たる

広報クイズ No.172

今月の問題

- 「いかわを拓く町民のつどい」今年のテーマは何でしたか？
- 平成17年度の産業・文化功労者は合わせて何人でしたか？
- 11月13日に行われた「全町卓球大会」団体の部で優勝したのは何チームですか？

応募の方法

ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、町内の方は世帯主名を記入してください。たくさんの応募をお待ちしております。

あて先

〒018-1596 井川町北川尻字海老沢樋ノ口78-1
 井川町役場情報課 広報係まで

しめきり

12月19日(月)当日消印有効

クイズの正解者の中から抽選で3人にテレホンカードをプレゼント。前回の答えは、(1)井川町企画懇談会、(2)273人、(3)11月19日でした。

歳末たすけあい募金のご協力をお願いします

今年も「歳末たすけあい運動」を実施します。

「歳末たすけあい運動」でみなさんからお寄せいただく義援金は、日常生活に困っている世帯、一人暮らし高齢者の方、在宅での要援護者の方などのために使われます。

みなさまのあたたかいご協力をお願いします。



【問い合わせ】

井川町共同募金会
 (井川町社会福祉協議会)まで
 電話 018(874)2611
 有線 4440

今年も皆様のご協力を！

保健だより 12月分

健康相談・母子健康手帳交付・わいわい広場

| 月 日 | 健 診 名 | 内 容 | 時間・会場 |
|----------------|----------|---------------------------------------|-----------------------|
| 12月5日 19日 | 健康相談 | 健康・栄養・睡眠に関する相談 | 9:00～17:00 健康センター |
| | 母子健康手帳交付 | 母子健康手帳・妊婦健康診査受診票交付 保健指導、栄養指導 | |
| 毎週月曜日 祝日は除く | わいわい広場 | 乳幼児・親等が対象。みんなで遊び、情報交換、相談(育児、栄養等)もできます | 9:30～11:30 健康センター等 |

すくすく学級・乳児健診

| 月 日 | 健 診 名 | 対 象 者 | 内 容 | 受付時間・会場 |
|---------------|----------------|-----------------------------|------------------------|-----------------------|
| 12月6日 (火) | 1歳6ヵ月 児 健 診 | H16年3月～5月生 | 身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導 | 13:00～13:30 健康センター |
| | 2歳児 歯科検診 | H15年7月～9月生 | 歯科検診 | 12:30～13:00 健康センター |
| 12月20日 (火) | すくすく 学 級 | H17年9月生まれ | 身体計測、保健指導 離乳食について | 9:30～9:45 健康センター |
| | 乳 児 健 診 | H16年12月、H17年 8月、5月、2月生まれ | 身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導 | 13:00～13:30 健康センター |

健診の時は、問診票、母子健康手帳、バスタオルをお忘れなく
 7ヶ月児は離乳食指導がありますので、1時までには受付を済ませてください

予防接種

| 月 日 | 区 分 | 対 象 者 | 受付時間・会場 |
|---------------|-----------------|---|-----------------------|
| 12月7日 (水) | ポリオ生ワクチン投与 | H16年6月5日～H17年9月8日生まれ および7歳6ヵ月未満で未実施の子 | 13:30～14:00 井川町診療所 |
| 12月12日 (月) | 三種混合 予 防 接 種 | H16年12月10日～H17年9月13日生 および7歳6ヵ月未満で未実施の子 | 13:30～14:00 井川町診療所 |
| 12月21日 (水) | B C G 接 種 | H17年6月19日～H17年9月22日生児 | 13:30～14:00 井川町診療所 |

子宮がん・乳がん検診の予約

対象：元号(昭和)の奇数年生まれの方

| 医療機関 | 実施日及び受付時間 | 予約受付先 |
|-----------------------|---|-------------------------|
| 湖東総合病院で検診を希望する方 | 月～土 9時～11時(第2・4土曜日を除く) 木～金 9時～11時、13時～14時30分 | 病院・福祉活動室 電話 875-2100 |
| 秋田組合総合病院で検診を希望する方 | 毎週金曜日 (1月受診希望の方は、12月12日までに要連絡) | 町健康センター 電話 874-3300 |
| 千葉医院で検診を希望する方(子宮がんのみ) | 月～土 9時～11時 月～金 14時～16時 | 千葉医院 電話 875-5360 |

食生活改善推進員養成講座

| 月 日 | 内 容 | 受付時間・会場 |
|--------------|-----------------|--------------------------|
| 12月6日 (火) | ・レクダンス | 9:00～14:00 農環センター |
| 12月9日 (金) | ・調理の理論と実習(調理実習) | 9:00～14:00 コミュニティセンター |
| | ・健康づくり総論(講話) | |

みんなの ひろば



八柳 翔悟さん (田中)
大工の仕事が好きなので、大工の仕事をした
いです。



松岡 心平さん (仲台)
プロ野球選手になりたい
です。



齋藤 拓仁さん (赤沢)
バスケットボール選手
になって、有名になり
たいです。



武埴 美波さん (坂本)
マンガ家になって、楽
しいマンガを描きたい
です。



菅生 佳那さん (大麦)
小さい子どもたちと楽
しく遊んであげられる
保育士になりたいです。



秋田商業高校
生徒会

湊 ほなみさん (2年・大倉)

ガンバル 高校生 179

11月5日、秋田拠点センター
アル
ヴエを会場に「秋商ビジネス実践学習」
が行なわれ、多くの来場者で賑わいま
した。これは秋商校全体を一つの総合
商社に見立て、それぞれの生徒が事業
部・開発部・PR部などの役割を担い、
自らが発案した商品などを販売するま
でのビジネス活動を実践する商業高校

ならではの企画学習。それらの部課を
統括し、成果発表までを取り仕切っ
ているのは生徒会です。
平成14年度からスタートしたビジネ
ス実践も今年で4回目。「商品を開発
して企業に売り込んだり、県内外企業
との仕入れ交渉など企業と直に接する
ことで、学校授業では学ぶことができ
ない知識を得る良い経験となりました
」と話すのは生徒会で活動する湊ほ
なみさん。「スポンサー企業集めが難
しかった」と感想を聞かせてくれました。
生徒会活動は、ビジネス実践のほか
にも学校祭や球技大会等の学校行事の
企画・運営があります。今一番の楽し
みは「自分たちでつくりあげた行事を
終えた後の達成感」と目をかがやかせ
ていました。



タイロの 楽しい英語の 時間です

このコーナーは、毎週水曜日、有線放送の定時放送
で放送されます。ひとくち英会話のテキストとして
ご利用ください。

Weather Forecast (on the radio)
天気予報 (ラジオ放送)

...And now the weather : Today will be a fair
winter.

day; mostly sunny and a high of 5 degrees.
This evening there's a 30 percent chance of
light rain or snow. It will get colder tomorrow
though, with a low of -6 and a high of 1. Be
careful on the roads -- they'll be icy, and from
the morning, thick fog is expected.

Snow tomorrow night. It will clear up on Friday,
with average temperatures of -1. But Friday
night will be windy and cloudy. And that's all
for the weather.

...次は天気です。今日は晴れた冬の日になるでしょう。
ほぼ晴れて最高気温は5度です。今晚の降水確率は30%で小
雨か雪が降るでしょう。

でも明日は寒くなり、最高気温は1度、最低気温はマイナス6
度になるでしょう。路面は凍るので気をつけてください。ま
た朝から濃い霧が予想されます。

明日の晩は雪。金曜日は晴れ、平均気温はマイナス1度にな
るでしょう。でも金曜の晩は風が強く、くもりでしょう。こ
れで天気予報を終わります。

日本国花苑の彫刻たち

~ 16 ~



(ブロンズ/ 200.0 x 85.0 x 50.0cm)

蝶が舞う森

新井 浩

入り口から南東にのびる国花苑のメインストリートをたどると、右手にテニスコートがある。そこから間もなく右手にわずかに傾斜した道が続く。「花木の丘」と呼ばれる四季の花咲く森へとつながる小道である。「蝶が舞う森」はこの小道の、丘の頂に近い草地に置かれている。伏し目がちの一人の少女は、木々に溶け込むかのように静かにたたずむ。右手の少女はこぼれ落ちる花びらにそっと手をのべ、左手の少女は小鳥たちのさえずりを聞くかのように耳元に手を添える。細くのびる体にくわりとつぎだした手は、不思議

な表情を見せて優しい。幾何的な形に削り取られた体は一見冷たい表情を思わせるが、四つの面を区切る稜線は柔らかく、大地の鼓動を取り込む樹木のように柔らかである。作家の選び出す形は実に様々な感情を引き出してくれる。創る楽しさは、素材の質感を越えて、我々の気づかない沢山の語りかけを自在に探し当てることにあるのかもしれない。

花木の丘には「普賢象」という桜が植えられている。室町時代から記録される古い栽培種で、八重の花弁の外側は濃い淡紅色だが内側の花びらは白色、二本の雌しべが長くつきだしている。その姿を白象にのる普賢菩薩に見立てて名付けられたという。桜の精のように木立の中に立つ少女には、一番似つかわしい可憐な花である。来春、桜の花が一杯に咲くころにぜひ訪ねてみてほしい。静かに木々のささやきを聞く少女たちが、やさしくあなたを迎えてくれるに違いない。

秋田県立近代美術館副館長 小笠原 光
新井 浩 / 一九六一年埼玉県生まれ。上越教育大学大学院芸術系コース修了。国展新海賞、昭和会展優秀賞など受賞多数。

わが家のアイドル



湊 萌唯ちゃん(1歳)

坂本町内
父・教
母・牧
子・良
さん
浩

1歳になってちょっとお姉ちゃんになったね。泣いたり、笑ったり、そんな姿に北川の家族も、み~んな癒されています。メイを見ながら、今日もパパはビールをぐくぐく「あーうまいなあ！」

短歌

井川短歌会詠草

体調の不良言いつつみな笑顔戦中学びし同級生つどう
夕映えに輝きて立つ柿の実を挽ぐ人もなく荒るる野畑か
公園で日がな一日絵を描き散るもみじ葉にゆく秋思う
強風の去りて周りの散りし葉は晩秋の歩道に片寄せられぬ
時折は雲の切れ間から陽の射して季節にあればみぞれ降り出す
季節ごと色の変わりしあじさいは庭の一角占めて明るく
木枯らしに雨も冷たく降る夜は我が子を偲ぶ詮もなければ
秋深く夜空は晴れて東方に大接近の火星輝く
山の端に夕陽ずつしり沈みゆく国花苑の湯に入りたる時に
朝まだき霜降る畦に佇みて先行き暗き米作り思う
なぐり書き消しては書きし短歌メモ一冊書き終う二年ほどにて

伊藤ミヤ子
小林 喜作
遠藤恵美子
児玉千代子
工藤 美穂
小林 タミ
鈴木 ヒロ子
渡部 光造
鈴木 鉱造
伊藤千代美
すずきいさむ

人口などの動き

(11月1日現在)

- ・人口 男 2,813人 (-39)
 - 女 3,159人 (-25)
 - 計 5,972人 (-64)
 - ・世帯数 1,771戸 (+7)
- () 内は前年同月との比較

慶 弔 だより

(10/21~11/20)

■お誕生おめでとう

- 鈴木 大惺 (尚樹、寛子)
- 遠藤 由悠 (慶太、葵)
- 八柳 陸人 (正秋、真由美)

■ご結婚おめでとう

- ♡ 小林 貴幸 (館 岡)
- 北嶋 保子 (八郎潟町)
- ♡ 三浦 友明 (井 内)
- 小沼美奈子 (由利本荘市)
- ♡ 伊藤 将秀 (小 泉)
- 菊地 佐起子 (秋田市)
- ♡ 小田嶋 佑 (潟上市)
- 八柳麻貴子 (羽 立)
- ♡ 薄田 篤 (男鹿市)
- 半田 里美 (羽 立)

■お悔やみ申し上げます。

- 松岡 多藏 (81歳・大 台)
- 工藤 成 (77歳・大 麦)
- 鈴木 勝男 (65歳・羽 立)
- 三浦タキエ (92歳・寺 沢)
- 伊藤 一雄 (73歳・中下村)
- 角崎 周助 (81歳・綱木沢)

善 意

■地域福祉基金へ

- ・坂本町内の湊 勉さんより、亡父三男さんの香典返しとして
- ・秋田市の中山峰明さんより、亡父順次郎さんの香典返しとして
- ・新間町内の鈴木卓美さんより、亡父金一郎さんの香典返しとして
- ・今戸町内の伊藤隆志さんより、亡母テツエさんの香典返しとして

“ありがとうございました”

施設の利用状況 (10月)

()内は累計

- 環境改善センター..... 917人 (8,078人)
- 歴史民俗資料館..... 32人 (207人)
- 町民体育館..... 1,749人 (11,221人)
- 町民武道館..... 770人 (3,715人)
- 町営野球場..... 168人 (4,143人)
- スポーツ交流館..... 515人 (1,319人)
- 定住促進センター..... 1,413人 (9,819人)
- 日本国花苑施設..... 2,552人 (16,213人)
- 老人福祉センター..... 1,447人 (10,262人)
- ごみ処理量..... 91t (687t)
- し尿処理量..... 54㎏ (559㎏)

街角インタビュー... ちよっとより道

『“音”を楽しむ』

白川 尚美さん(街道)



美しいハーモニイがホールに響きわたる。11月6日町民文化祭「歌と踊りのつどい」の一場面。町のコーラスグループ・井川町音楽同好会は「カトレアの詩」「飛び魚の歌」を披露した後、会場に集まった人たちに呼びかけ、一緒になって「秋田県民歌」に声を合わせた。会場には歌声と共に参加者たちの一体感が広がっていった。

この井川町音楽同好会で指揮をつとめる白川尚美さんに話を伺ってみた。

「小さい頃から、音楽の先生になりたかった」と話す白川さん。4歳からピアノを習い始め、大学では教育学部で『音楽』を専攻した。「合唱の指導はまだまだ手探りの状態ですが、音楽の楽しさをみなさんに少しづつでも分けてあげられたい」と『音楽』で学んだ発声法などを活かしながら指導にあたっている。

今年11月中旬、井川町音楽同好会を指導して4回目の八郎湖合唱祭を迎えた。八郎湖周辺市町村の合唱グループが集う年に一度のコーラスの祭典、このステージで美しいハーモニイを奏でることを目標に練習に励む。

「みなさん働いていたり、家事をこなしたりしながら練習に顔をだしてくれませす。自分もしっかりしないと」と身を引く締めタクトを振る。「立場としては指導する側にありますが、共に歌をつくっていく過程で、本質的なところの音を楽しむということをメンバーのみなさんに教えられる気がします」と笑顔がこぼれた。井川町音楽同好会では合唱に興味のある方の参加を呼びかけている。



編集雑記

ひとりごと

元来、文章を書くことが苦手だ。唐突な告白ではあるが、広報を編集していくなかで毎月産みの苦しみを味わっているかのようだ。「税の作文コンクール」で井川中から2人が賞に選ばれた。税の正しい理解を促すこのコンクール、税のみならずそれを取りまく社会情勢までもよく調べ、その理解の深さ、文章表現の確かさには感心しきり。受賞された2人の作文を全文掲載させていた。コーラスを指導する白川さんは、定期的に練習していないと出る声も出なくなる。と、勘を取り戻すまでに時間がかかる。と通年して定期的練習がこれからの課題と語っていた。毎月々々、広報を書き始めるまでに時間がかかる。追い込まれないと気が向かない性分もあるのだが、それでもこの雑記を書く頃には大分文章に向かう姿勢にはなっている。これを「勘を取り戻す」と言うのか、慣れと呼ぶかは分からない。ただ、慣れは「師も走る」忙しさにならぬようにと言いつつ聞かせるばかりだ。ちなみに受賞された2人に「広報を書いてくれないか」と笑いながらも真剣に聞いてみたが、はにかんでやんわりと断られた。